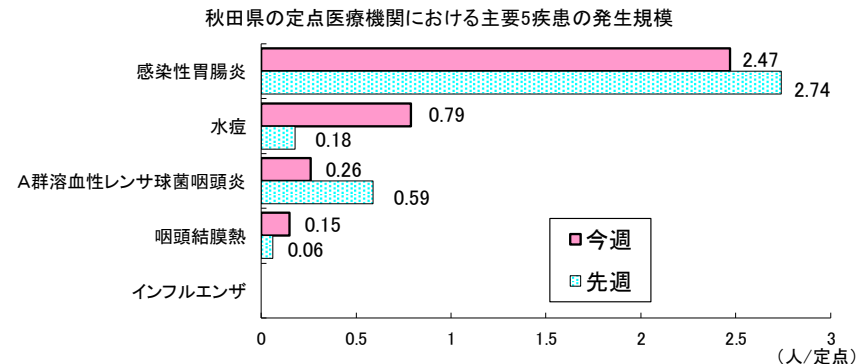




【第9週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で10%減少しています。保健所別では、秋田市、能代、由利本荘、湯沢で増加、北秋田で同規模、大館、秋田中央、大仙、横手で減少しています。
2. 水痘は、県全体で4.4倍に増加しています。保健所別では、秋田市、由利本荘、湯沢で増加、大館、大仙で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で56%減少しています。保健所別では、秋田中央で増加、秋田市、大館、由利本荘、大仙、横手、湯沢で減少しています。



発生報告

< 5類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢			
	第8週	第9週	増減	第8週	第9週	増減	第8週	第9週	増減	第8週	第9週	増減	第8週	第9週	増減	第8週	第9週	増減	第8週	第9週	増減	第8週	第9週	増減	第8週	第9週	増減				
RSウイルス感染症	0.03		↘	0.14		↘																									
インフルエンザ																															
咽頭結膜熱	0.06	0.15	↗	0.29	0.29			0.25	↗													0.50	↗								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.59	0.26	↘	0.43		↘	1.50	0.50	↘						1.00	1.25	↗	0.25		↘	0.75	0.50	↘	0.33		↘	0.67		↘		
感染性胃腸炎	2.74	2.47	↘	3.71	4.14	↗	0.50	0.25	↘	0.50	0.50		8.33	9.33	↗	2.25	2.00	↘	1.50	2.00	↗	5.50	2.00	↘	0.67			0.33		↗	
水痘	0.18	0.79	↗		0.14	↗	0.75	0.25	↘													1.25	↗	0.50		↘			0.33	6.67	↗
手足口病																															
伝染性紅斑																															
突発性発しん	0.09		↘							1.00		↘						0.25		↘											
ヘルパンギーナ																															
流行性耳下腺炎																															
川崎病																															
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*									*	*				
流行性角結膜炎										*	*		*	*		*	*									*	*				
細菌性髄膜炎															*	*															
無菌性髄膜炎															*	*															
マイコプラズマ肺炎															*	*															
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*															
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)															*	*															

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数があったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から2人、報告されました。
 ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
 ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から795人、大館保健所管内から185人、北秋田保健所管内から25人、能代保健所管内から23人、秋田中央保健所管内から56人、由利本荘保健所管内から93人、大仙保健所管内から187人、横手保健所管内から34人、湯沢保健所管内から112人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-8週		9週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	1862	8	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	3		
	腸管出血性大腸菌感染症	114	2	
	腸チフス			
	パラチフス			
四類	E型肝炎	65		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	12		
	エキノコックス症	1		
	黄熱			
	オウム病			
	オムスク出血熱			
	回帰熱	2		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	4		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	1週-8週		9週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	41		
	デング熱			
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	4		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	1		
	マラリア			
野兔病				
ライム病	2			
リッサウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	160	2		
レプトスピラ症				
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	65		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	28		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	191	2	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	2		
	急性脳炎	42		
	クリプトスポリジウム症			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	34		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	112		
	後天性免疫不全症候群	125		
	ジアルジア症	4		
	優襲性インフルエンザ菌感染症	30		
	優襲性髄膜炎菌感染症	1		
	優襲性肺炎球菌感染症	170	2	
	水痘(入院例に限る)	31	2	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	1402	4	1
	播種性クリプトコックス症	21		
破傷風	7			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	20			
百日咳	82	2		
風しん	1			
麻しん	1			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1			
* 新型コロナウイルス感染症		7595	1510	

* 新型コロナウイルス感染症

トピック

<呼吸器感染症ウイルスの検出状況について>

秋田県健康環境センターでは、感染症法に基づく感染症発生動向調査事業の一環として、対象疾患の病原体を調査しています。このうち、呼吸器感染症を引き起こすウイルスに関しては、インフルエンザウイルスを含む9種類を検索しています(表)。インフルエンザウイルスは昨シーズン・今シーズン流行がみられず2021年には検出されませんでした。依然として検出数の多いウイルスもありますので、注意しましょう。

■検出状況(2021年)

例年、RSウイルスは秋から冬にかけて検出数が多くなりますが、昨年は夏季にRSウイルス感染症の流行がみられ、7月をピークに検出数が多くなりました。その他、アデノウイルス、パラインフルエンザウイルス、ヒトボカウイルス、季節性コロナウイルス(NL63型、OC43型、HKU1型及び229E型)*、ライノウイルスが1年を通じて散発的に検出されました(図)。

※ヒトに感染するコロナウイルスのうち、SARS(重症急性呼吸器症候群)、MARS(中東呼吸器症候群)、新型コロナウイルス感染症の病原体ウイルスを除いた4種類

■予防対策

- ・ウイルスによる呼吸器感染症は、様々な病原体によって年間を通じて発生しています。手洗い等の日常的な予防対策を今後も継続して行いましょう。
- ・免疫力が低下するとウイルスに感染しやすくなります。バランスよく栄養をとる、十分な睡眠をとるなど、日常生活における体調管理をしっかりと行いましょう。

表 呼吸器感染症ウイルスの検出数(2021年)

ウイルス名	件数
RSウイルス	53件
ライノウイルス	44件
季節性コロナウイルス	32件
ヒトボカウイルス	28件
パラインフルエンザウイルス	14件
アデノウイルス	13件
エンテロウイルス	0件
ヒトメタニューモウイルス	0件
インフルエンザウイルス	0件

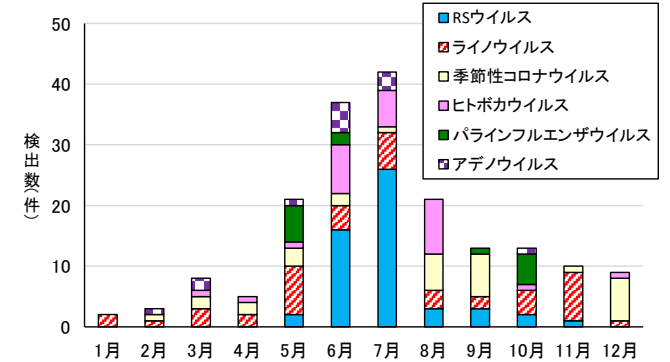


図 県内における呼吸器ウイルスの検出状況(2021年)

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎2件、かぜ様症状1件の集団発生報告がありました。

事例の種類	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
				園児	職員	計			
感染性胃腸炎	大仙市	内小友保育園	3/2	51名のうち 13名	15名のうち 0名	13名	2/24 ~ 3/2	嘔吐	ノロウイルス検出
	能代市	まつばら保育園	3/4	63名のうち 14名	21名のうち 0名	14名	3/3 ~ 3/4	嘔吐	
かぜ様症状	大仙市	大川西根保育園	2/28	60名のうち 15名	17名のうち 0名	15名	2/25 ~ 2/28	発熱、咳、鼻汁	



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	由利本荘(1.25)	湯沢(6.67)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	基準値(人/定点)		開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		